

第1回白馬村食育推進会議 会議録（要約）

召集年月日	平成28年9月30日（木）午前10時			
召集の場所	白馬村保健福祉ふれあいセンター 1階機能訓練室			
開閉会の日時 及び宣言	開会	平成28年9月30日（木）午前10時	健康福祉課長	太田 洋一
	閉会	平成28年9月30日（木）午前11時20分	副会長	田中 栄一
出席者数	委員数18名の内 出席者14名			
出席委員	職名	氏名	職名	氏名
	委員	鎌倉 重子	委員	滝澤 達也
	委員	田中 みつる	委員	石野 真
	会長	松沢 正猛	委員	横川 辰彦
	委員	福島 和子	委員	篠崎 隆弘
	委員	堀内 亜矢子	委員	太田 昭子
	副会長	田中 栄一	欠席委員 中村 豊・大久保 ちひろ 柏原 英司・窪田 久義	
	委員	平林 真一		
	委員	塩島 弘之		
	委員	大林 禮子		
事務局	健康福祉課長	太田 洋一	農政課長	横山 秋一
	健康福祉課 健康づくり係長	工藤 弘美	農政課 課長補佐	下川 啓一
	健康福祉課 管理栄養士	丸山 美和	農政課 主事	山岸 大輝
傍聴者	なし			

1. 開 会

〔事務局：太田課長〕開会を宣言した。

2. あいさつ

〔下川村長〕 第1回協議会への出席及び保健事業の推進に対しお礼を述べた。地域全体での食育推進が求められる中で、第1期計画では白馬ならではの「恵」・その基礎となる「農」・これらから育む「食」を中心に取り組みを進めてきた。第2期食育推進計画策定への協力をお願いした。

3. 委嘱書交付

4. 委員及び事務局職員の紹介

当会議はこれまで策定してきた白馬村食育推進計画は平成23年から平成28年までの5か年計画、本年度が最終年度となる。白馬村地産地消推進計画は平成26年から平成28年までの3年間となっており、白馬村地産地消推進計画の中で、白馬村食育推進計画は地産地消の取組を包含するものと位置づけ、両計画の終期を合わせているので、次期食育推進計画は地産地消計画を含め一本化する形で進めていきたい。

「資料1」委員名簿の順に各委員は自己紹介し、引き続き事務局職員も自己紹介をした。

欠席委員 大久保委員・柏原委員・中村委員・窪田委員

5. 委員長及び副委員長の選任

〔事務局：太田課長〕 「資料2」白馬村食育推進会議設置要綱に基づき、会長及び副会長の互選を求め、「事務局案」の提案をしてもよいか承認を求めたところ了承が得られたため、会長に松沢正猛委員、副会長に田中栄一委員を提案し、承認された。

6. 会議運営に関する事項の確認

〔議長：松沢会長〕事務局に説明を求めた。

〔事務局：丸山〕 「資料3」会議運営に関する確認事項に基づき、次のとおり説明した。

- 会議は原則として平日の日中開催し、会議時間は概ね90分を限度とする。
 - 会議資料は基本的に事前配布する。
 - 会議及び会議資料は原則として公開する。
 - 会議の録音及び写真撮影（ビデオ撮影を含む。）の申し出があった場合は会長の許可を得る。
 - 事務局による記名の会議録（要約）を作成し、会長の了承を得て原則として公開する。
 - 会議録は事務局で保存し委員の必要に応じて供覧する。
 - 協議結果は委員個人の意見ではなく、協議会としての検討結果をまとめる。
 - 上記以外に委員会の運営について必要な事項が生じた場合は、その都度協議会で協議する。
- この会は様々な分野の方が出席しているので、それぞれの立場でご意見をいただきたい。

〔議長：松沢会長〕事務局の説明に対して質疑・意見を求めた。特に質疑・意見がなく、会議運営に関する事項は了承された。

7. 協議事項

(1) 第1期計画評価について

〔議長：松沢会長〕 事務局に説明を求めた。

〔事務局：丸山〕 「資料4」により第1期食育推進計画評価について説明

資料の修正。白馬村食育推進計画 郷土料理に関する項目現状値 57.4→51.4に訂正。

目標値を達成状況別にA～Dで4段階評価。中でも、大きな改善がみられたものに網掛け、大きく悪化した項目には○印をした。間食、運動、口腔の悩み、給食地場産供給量、栄養バランス、小中学生の朝食接種率で大きな改善がみられ、逆に、成人の朝食接種率、地域食材の活用、郷土料理の認知度、共食の項目については悪化が見られた。

〔事務局：横山課長〕 「資料4」地産地消推進計画評価について説明

安心安全な食の提供が大きなテーマとなっており、担い手の育成、農産面積についてA評価。

〔議長：松沢会長〕 事務局の説明に対して質疑・意見を求めた。

〔議長：松沢会長〕 他に意見を求めたが特になかった。

(2) 計画について

〔議長：松沢会長〕 事務局に説明を求めた。

〔事務局：丸山〕 「資料5」により計画策定について説明

食育基本法第18条、六次産業化・地産地消法第41条に基づき作成すること、国は3次計画、県は2次計画を策定している。次期計画から白馬村地産地消計画を統合し、白馬村食育推進計画として作成していく。

趣旨についてはご意見いただきたい旨お願いする。

〔議長：松沢会長〕 事務局の説明に対して質疑・意見を求めた。

〔議長：松沢会長〕 他に意見を求めたが特になかった。

(3) 現状について

〔議長：松沢会長〕 事務局に説明を求めた。

〔事務局：丸山〕 「資料6」平成27年度白馬村食育関連団体のライフステージ別活動内容について説明。

白馬村の現状として村内食育関連団体の活動状況を、事前調査をもとに、縦軸に基本目標、横軸にライフステージ別にまとめたもの。

〔事務局：工藤〕 「資料6-①」白馬村の健康課題について説明。

人口・死亡・介護保険・医療・特定健診・生活習慣について、白馬村・同規模市町村平均・県・国で比較をし、課題となる数値に丸を付けてある。

2枚目のA3資料はこれらを1枚にまとめたもの。これらの中で、特定健診の結果から血糖の値が高

いこと、医療費を高くしている要因は虚血性心疾患が多く、その要因として脂質異常症が多いことが課題となっている。

〔事務局：山岸〕 「資料6-A」白馬村地場産推進会活動状況について説明。

〔事務局：丸山〕 「資料6-②」アンケート結果について説明。

問8 朝食接種率で成人の欠食率が増加。問24 地場産作物の接種率が低下。 問26 郷土食認知度が低下。

〔議長：松沢会長〕 事務局の説明に対して質疑・意見を求めた。

〔議長：松沢会長〕 他に意見を求めたが特になかった。

(4) 課題の検討について

〔議長：松沢会長〕 事務局に説明を求めた。

〔事務局：丸山〕 「資料7」白馬村の課題について説明。

前期計画の評価・現状・健康課題・アンケート結果をもとに3つの課題をあげた。ご意見をいただきたい。

〔議長：松沢会長〕 事務局の説明に対して質疑・意見を求めた。

今後も意見があれば事務局に伝えていただきたい。その他、全体を通して、発言を求めた。

〔田中委員〕 健康課題には白馬村の観光産業も影響していると思われる。ほかの計画でも実際に課題をどうやって解決に結びつけていくかの具体策がたりないように思われる。食育の定義は広いが健康に重点を置くものとしたい。課題に各関係機関が取り組みをしていると思うが、共通して取り組めるようなものにするための会議だとも思うので、活動における悩みを出し合い、解決していけるとよい。

〔事務局：横山〕 文化祭に合わせてお米の試食を行うので、委員さんの参加をお願いしたい。9月にも道の駅で収穫祭があった。地元の方の振る舞いがまさに郷土食である。PRにも努めていきたい。

〔大林委員〕 10月にも食育フェアがあると聞いた。

〔堀内委員〕 10月15日に小谷村で食育フォーラムを計画している。(各市町村持ち回り)ご参加いただきたい。

(5) その他

〔議長：松沢会長〕 その他として、意見を求めた。

〔事務局：丸山〕 今後のスケジュールについて説明。

〔議長：松沢会長〕 午前は共同調理場の栄養士などの参加が難しいので、今後は午後の開催としてはど

うかと提案し、委員の了承を得た。会議開催の回数も限られているので、事前に資料を送ってもらい、委員も検討してきてほしい。

〔田中委員〕 給食の試食会を今年も開催してはどうか。

〔事務局：横山〕 地場産で給食試食会を予定しているので、合同開催としたい。

8 閉 会

〔田中副会長〕 良い計画となるように皆さんの協力をお願いし、閉会を宣言した。

終了 11:20

以 上